

press release

スタンダードチャータード銀行東京支店はインドのアンドラ・プラデシュ州経済開発委員会との間で、開発事業への協力に関する覚書を締結

2018年6月19日に、スタンダードチャータード銀行東京支店 在日代表 兼 最高経営責任者の竹内靖典は、アンドラ・プラデシュ州政府の投資促進機関であるアンドラ・プラデシュ州経済開発委員会（APEDB）との間で、開発事業への協力に関する覚書を締結しました。

APEDB は、i) 戦略的投資の計画と推進、ii) 投資に関する照会への対応、iii) 公共投資および民間投資を補完するために必要なリソースの準備、iv) 部門間の協力の促進、v) 経済および政治に関する調査等を行い、アンドラ・プラデシュ州の経済成長、投資環境の改善、様々な改革、競争力の向上を促進し、州全体の包括的な経済成長を加速させる役割を担う機関です。

スタンダードチャータード銀行は、世界で最もダイナミックな市場のいくつかにおいて 150 年を超える歴史を有し、日本にも 1880 年以來拠点を置いている銀行であり、日本-インド間の経済回廊に対する投資を推進している有力銀行の一行です。本覚書に基づき、スタンダードチャータード東京支店と APEDB は協力して、日本企業に対してインドへの投資を奨励し、アンドラ・プラデシュ州における途切れのない事業の拡大と拠点の確立を確実にするためのサポートを提供します。APEDB とスタンダードチャータード銀行東京支店の協力は、日本とインドにおけるセミナーや交流会の共催、同州において日本の投資家が将来実施する投資プロジェクトに対するサポートと助言を通じて、日本企業に広げられていく見通しです。

アンドラ・プラデシュ州について

アンドラ・プラデシュ州（州都はアマラーヴァティー）は、2014年の同州分割の後に建設された新しい州です。日本政府は、スポーツシティとエレクトロニクスシティを含む、同州の新しい州都アマラーヴァティーの開発をサポートしてきました。同州は、インド政府が2016年に発表したEase of Doing Business Ranking（ビジネスがしやすい都市ランキング）で一位を獲得しています。同州南部のスリシティ工業団地では16社の日系企業が拠点を置き、インドで2番目に大きい日系企業の集中地域となっています。

スタンダードチャータードについて

スタンダードチャータードは、世界で最もダイナミックなくつかの市場で150年を超える歴史を有する、世界有数の国際的銀行グループです。同行の目的は、その特色である多様性を通じてビジネスとその成功を追求していくことです。我々の伝統と価値は、「Here for good」というブランドプロミスに表現されています。スタンダードチャータード銀行は60を超える市場に、1,000店を超える店舗、約3,000台のATMを有しています。スタンダードチャータード・ピーエルシーは、インドのボンベイ証券取引所および国立証券取引所のほか、ロンドンと香港の証券取引所にも上場しています。

詳しくは、以下の担当者までご連絡ください。

Corporate Affairs & Brand Marketing
Standard Chartered Bank
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9312
CA.Japan@sc.com
